

岡崎市議会議長 様

支出番号

8

会派名

自民清風会

代表者名

加藤 義幸



下記のとおり、政務活動を実施したので報告します。

政務活動旅行報告書

令和元年 12月 27日提出

活動年月日	令和元年 7月 17日 (水)	
氏名	野本 篤	
用務先 及び 内 容	1 7月17日	用務先 東京都 杉並区
		内 容 杉並区議会コミュニケーションツールについて
	2	用務先
		内 容
	3	用務先
		内 容
	4	用務先
		内 容 1
備 考		



政務活動旅行報告書

報告者 野本 篤

視察概要

日 程：2019年7月17日（水）13：00から

場 所：東京都杉並区役所 杉並区議会



視察のねらい

議会内の ICT 化の推進に伴い、コミュニケーションツールの利用を検討している。現在導入を検討中のツールを先んじて導入されている議会を伺い、本市での導入に向けた意見などを聴取する。

視察調査内容

■ ツールの導入

どの議会においても ICT に対して苦手意識を持つ議員はいるものである。しかし、社会環境の変化に伴い、個人の意向ではなく、導入するものという考え方で進めていくことが重要である。

ソフトの選定についても、すでに LINE を利用している議員も多いことから、今回検討している LINEWORKS を使用する際にあまり抵抗がないと考えられた。

■ 導入のメリット

プッシュ機能によって情報収集の即時性が高まる。また、情報の集約によって必要な情報に対してアクセスしやすくなった。また、データとして残るので、再見することができるのは良い。

また、日程調整や議会事務局からの案内など、スムーズに行えると共に、対応する職員の心理的負担が軽減されることも大きなメリットである。

■ 課題

これまで、情報が紙によって手元に降りてきたが、データでの対応となると自分で情報を取りに行くという作業が必要となる。

杉並区議会においては、情報の既読率は約70%程度となっている。このことから、議員の教育が必要となる。

デジタル文書の共有に関しては、導入時期の時差によって、LINEWORKSでは行っておらず、別のソフトで行っている。

考 察

議会のICT化に対しては、どの議会においても苦手意識のある議員がいることは理解するが、時代の流れの中で、やるべきことはやるしかないということを理解していただかなくてはならない。

単純にペーパーレスという結果に邁進する訳にはいかない。ただ、導入のメリットから見ても、日々の単純な連絡や情報共有に関してはコミュニケーションツールの使用が必須と考える。

全体的に利用が問題なくできるようになれば、文書共有もやるべきであり、必然的にタブレットの使用も検討するべきと考える。